

「ワクチン休暇」IT大手で次々

新型コロナウイルスのワクチンを接種しやすい職場環境を整えるため、就業時間内の接種を認めたり、特別な「ワクチン休暇」を導入したりする動きがIT大手などで広がっている。家族の接種に付き添う場合も休めるようにした企業もあり、実際に社員が取得したケースも出ている。

ヤフーは今年12日から、就業時間内にワクチン接種を受けることを認めた。また、副反応で休む必要が生じたり、家族の接種に付き添ったりする場合は、年次有給休暇とは別の特別な有給休暇を取れるようにした。

社員の鈴木麻未さん(47)

就業時間内接種 容認も

は、80代の両親のワクチン接種に付き添うため、19日に特別有休を半日取った。「会社が早い段階で対応方針を決めてくれたので上司への説明もスムーズにいったし、休みをとる後押しにもなった」と話す。

スマホゲーム大手のグリーやDeNA、フリーマーケットアプリ大手のメルカリも就業時間内のワクチン接種を認めた上で、接種の付き添いに加え、自分だけでなく家族の副反応の看病でも、特別有休を取れるようにしている。メルカリ広報は「社員からは『安心できる』といったポジティブな声が多い」と話す。

IT業界以外にも同様の動きは出ている。たとえば飲料大手のアサヒグループホールディングス(HD)やキリンHD、東京海上日動火災保険や三井住友海上火災保険も、就業時間内の接種を認めている。三菱電機やスーパードライのライフコーポレーションは、全従業員を対象に、ワクチン接種を受ける日は特別有休としている。

ワクチン接種を巡っては、政府内の調整を担う河野太郎行政改革相が今年13日、経団連に対し、職場での接種や接種時の従業員の休暇取得など企業への協力を求めている。

(益田暢子)